

若手研究者のためのブラッシュアップ論文特集の発行にあたって



若手研究者のためのブラッシュアップ論文特集編集委員会

委員長 高橋 応明

通信技術の世界は高度化し日々発展しており、若手研究者の技術力・発想力が、世界に伍していく日本の技術力の維持・発展には不可欠である。この若手技術者を支援し、ブラッシュアップしていくことが、永続的に日本の研究活動を維持していくには重要である。

和文論文誌は日本語での論文執筆が可能であることから、通信技術の研究開発に携わる企業の若手研究者からの多くの論文投稿があり、研究成果の発表の場として一定の成果を上げている。本特集は、これまで以上に和文論文誌Bの場が若手研究者の研究活性化の契機となるよう、特別に企画、実施したものである。特集テーマとして技術分野を絞るのではなく通信技術全般を対象テーマとした。また、論文の筆頭著者を40歳以下の若手研究者・学生に限定することにより、若手研究者が論文執筆する動機を与えることを目指している。通信ソサイエティの全分野にわたって多くの論文投稿が予想されたので、和文論文誌B編集委員会全員に本特集の編集委員を務めて頂いた。

本特集に投稿された論文数は、論文27編であり、厳正な査読の結果、最終的には論文10編を採録すること

となった。投稿して下さった著者の思いに応えるべく、判定にあたっては、慎重な委員会審議、幹事団による全論文の通知文チェックなどを行った。本特集が学位取得や職場でのステップアップ、更に将来の研究開発活動をより活発化させることの一助になれば幸いである。

最後に、本特集を発行するにあたり、御投稿頂いた方々、論文査読に御協力頂いた査読委員の方々、企画及び編集に御尽力頂いた編集委員各位、並びに事務局の奥村様に深く感謝申し上げる。この特集企画が今後も継続的に実施されることを期待している。

たかはし まきはる
高橋 応明 (正員：シニア会員) 1989東北大卒、1994東京工業大学大学院博士課程了。同年、武蔵工大助手、1996同大講師、2000東京農工大助教授、2004千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター助教授、2007同准教授、現在に至る。博士(工学)。平面アンテナ、RFID、人体と電磁波の研究に従事。2009本会通信ソサイエティマガジン論文賞受賞。2009、2011本会通信ソサイエティ論文賞優秀論文賞受賞。2011本会和文論文誌B編集委員長。IEEEシニア会員、著書『電磁波工学入門』『RFID用アンテナ技術の基礎と応用設計事例』など。

若手研究者のためのブラッシュアップ論文特集編集委員会

委員 幹事 委員	委員長	高橋 応明
	幹事	佐波 孝彦
	委員	石川 博康・王建青・大川 貢・大島 正明
		大西 輝夫・小川 猛志・小川 剛史・可児 淳一
		笹森 崇行・塩川 茂樹・末田 欣子・末次 正
		瀬戸 一郎・平明徳・高橋 徹・寺島 美昭
		中野 雅之・西森 健太郎・濱住 啓之・船越 裕介
		星田 剛司・森山 敏文・柳生 智彦・山井 成良
		吉原 貴之・和田 忠浩